

ホクコー側条オリゼメートリディア顆粒水和剤

■種類名：フルピリミン・プロベナゾール水和剤

■有効成分：フルピリミン----- 4.0%
プロベナゾール----- 48.0%

■化管法指定物質：プロベナゾール [第1種] ----- 48.0%

■登録番号：第24594号

■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■登録初年：2022.01.12

■性状：淡褐色水和性細粒

■有効年限：3年

■包装：500g×20袋

【特長】

- 田植時の側条施肥と同時に、ペースト状肥料に混和するタイプの殺虫殺菌剤で、いもち病、イネミズゾウムシに効果を示す。
- 省力的な田植同時処理で、本田防除と同等の優れた効果が期待できる。
- 土壌中に施用するので、周辺環境に対する影響が少ない。

【適用内容】(2023年10月末日現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルピリミンを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネミズゾウムシ	500g/10a	移植時	1回	ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する。	3回以内 (直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)

【効果・薬害等の注意】

- 予め本剤を同重量の水に混ぜ、これをペースト肥料に加えて均一に混合し、側条施肥田植機で本田に施用すること。
- 本剤と混合したペースト肥料は、その日のうちに使用すること。
- 同一の病害虫を防除対象とする育苗施用薬剤とは併用しないこと。
- 移植後は湛水状態(湛水深3~5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意すること。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさけること。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけること。
- 容器、空袋はほ場などに放置せず、適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲、誤食などのないよう注意すること。
- ❖ 使用の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。
作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけること。
- ❖ 夏期高温時の使用をさけること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
使用後は河川、養殖池等に流入しないよう、水管理に注意すること。
- ❖ 保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。